

感謝

平成二十五年十二月一日
平成二十五年十二月三十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

- 北杜市 小池 芙喜子 様
- 北杜市 相良 紀昭 様
- 北杜市 浅川 元晴 様

ボランティア活動

- レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- レクボランティアゆずつこの会 代表 佐野 恭子 様
- 北杜市 うたなかま八ヶ岳 様
- 北杜市 保坂 多枝子 様
- 北杜市 井上 早智子 様
- 北杜市 三村 明子 様
- 北杜市 原田 勝子 様
- 北杜市 青柳 昭次 様

愛寿会後援会へのご協力

- 多摩市貝取 岩下 正代 様
- 北杜市長坂町 坂本 忠征 様
- 北杜市長坂町 板山 國夫 様
- 越谷市東越谷 由井 きみ子 様

第二仁生園

く クリスマス会 く

十二月二十五日、待ちに待っていたクリスマス会をしました。

まずは職員のピアノ二重奏による演奏から会が始まりました。

次にビンゴゲームです。最初の一人が「リーチ！」と叫んだ途端、「私も、僕もリーチ！」と勢揃いです。真剣な眼差しでカードを見て、みごと「ビンゴ」と、あちらこちらから大きな声が聞かれました。



クリスマスケーキを食べたら、お楽しみのクリスマスプレゼントです。このプレゼントは毎年第二仁生園家族会の皆様から頂いています。それぞれ希望のプレゼントを頂いてニッコリ笑顔の会でした。

下記の作品は、利用者様が直接手に絵具をつけ、布に描いて完成させた富士山です。世界遺産にも登録された富士山を鮮やかな色で表現し、歌の歌詞を添えました。



二面会の皆々様

手指の消毒などにご協力を!

仁生園・第二仁生園 共通

お手数をおかけしますが、施設利用者の健康を守るために次の七項目をお守りくださいますようお願いいたします。

- 一、ご面会は、なるべく午前九時から午後五時の間にお願いたします。
- 二、出入口は、正面玄関からのみとしてくださるようお願いいたします。
- 三、ご面会の際には、必ずマスクを持参してください。
- 四、玄関に入りますと正面に消毒液が設置されておりますので、手指を丁寧に消毒してください。
- 五、ご面会に訪れたことを事務室にお話してください。その際、体調の悪い方には遠慮いただくことがあります。
- 六、それからワーカー室に向い、来意をお伝えください。
- 七、ご面会の際には、マスクの着用を基本にお願いいたします。

愛寿会のサービスへの何かご意見・ご要望や施設見学等のご希望がありましたら左記までご連絡ください。

- 仁生園 電話 0551(32) 3340
- 第二仁生園 電話 0551(32) 8270



1 月 6 日 (月) 平成 26 年愛寿会新年互礼会

愛寿会 たより

1 月号
第 175 号
平成 26 年
1 月 10 日発行

一月六日(月) 愛寿会、平成二十六年新年互礼会が執り行われました
小宮山理事長から年頭訓示をいただき、新たな年に職員一同
「和」の結束を一層固め、介護業務に邁進する意識を確認し合いました

互礼会では、清水仁生園園長の開会あいさつに続き、浅川副園長の発声のもと、愛寿会三つのモットー、七つの誓いを職員全員で朗誦しました。

愛寿会・三つのモットー

- 「利用者本位のサービスの実践」
- 「専門性の活かせる職場づくり」
- 「地域社会との協働と貢献」

愛寿会・七つの誓い

- 「はい」という素直な心を持ちましょう
- 「ありがとう」という感謝の心を持ちましょう
- 「どうしましたか」という気遣いの心を持ちましょう
- 「させてください」という奉仕の心を持ちましょう
- 「すみません」という反省の心を持ちましょう
- 「おかげさま」という謙虚な心を持ちましょう
- 「そうですね」という分かり合う心を持ちましょう

その後、愛寿会に採用された二名への辞令交付が行われました。理事長からの年頭訓示、要旨を以下に掲載いたします。

はじめに、愛寿会役職員が現在置かれている社会的状況についてのお話がありました。
少子高齢化と称されて久しいこの時代に、社会福祉、とりわけ高齢者介護に携わる者は「生きる」ことの大切さに、真摯な態度で向き合って欲しいとの言葉がありました。
社会に生きるということは、それが何某かの、社会貢献に繋がっており、その多くが、現在のこの地域の賜物となっているものとお考えからでした。

職員には、長きに亘りこの社会貢献をされて来られた方々に対し、日頃から尊崇の気持ちを持って接し、温かく見守ることに心掛けて欲しいとし、やがて施設利用者の皆様が、その時をお迎えになられた際に、本当の意味での「尊厳」ある終末を過ごしていただけるように、一人一人が、「和」の大切さを想いながら、協調の気持ちを発揮して、職務に邁進することに期待するとの訓示でした。
次に、施設を健全に運営していく上で、重要なこととして「人材の確保(組織強化)」と「経営内容の明確化」が挙げられるとし、「専門性の活かせる職場づくり」を達成するためには、地域の皆様と協働し、意思を共有して「個」を高め、その「個」が更に線で結びつき、その輪を拡げ、この地域に「ご恩返し」ができる職場を標榜して、各々が日々の研鑽を重ねることこそ「質の高いサービスの提供」ができる組織となる旨の訓示がありました。

十二月二十日（金）第百九十八回理事会、並びに第三十八回評議員会が開催され、愛寿会役員を選任等及び平成二十五年度一般会計補正予算のほか、就業規則の一部改正給与規程の一部改正などが審議されました。

本年度三度目となる理事会、並びに、評議員会が開催されました。以下、その主な議案の内容をお知らせいたします。

◆ 新役員の委嘱・選任について

一、昨年九月にご逝去された、板山賢治前会長の後任人事が発議され、理事全員の同意により、小澤澄夫氏（理事・顧問）が会長職に就任いただくことに決し、小宮山理事長から委嘱状の交付が行われました。

二、前記「一」と同じく理事職、並びに、評議員職に欠員が生じているため、後任者の選任が喫緊の課題となっております。「理事は、評議員会において選任し、理事長が委嘱する。」とされており、また、「評議員は、社会福祉事業に関心を持ち、または、学識経験のある者で、この法人の趣旨に賛成して協力する者の中から理事会の同意を経て、理事長が委嘱する。」とされています。今般、板山國夫氏（北杜市長坂町、在住）に白羽の矢が立つところとなり、出席した役員・評議員の全員の同意のもと、新理事・評議員に選任されました。

◆ 平成二十五年度一般会計補正予算について

一、法人本部の補正予算の概要は、十月に執行行われた「設立四十周年記念事業」の実施に際して、法人本部内での、予算の流用、または、予備費の充当で予算措置を行い、記念講演会や記念式典が開催されたことが報告されました。

二、仁生園拠点区分では、特別養護老人ホームのほかデイサービスセンター、介護相談センター及び、グループホームの各サービス区分の補正予算が示され、今年度十月末までの実績を踏まえたところでの内容であることの報告がありました。

三、第二仁生園拠点区分では、「山梨県介護職員養成事業」などの助成事業による交付金に対する補正予算を計上したことが報告されました。何れの予算も、原案のとおり承認されました。

◆ 愛寿会規程の一部改正並びに、制定について

一、給与規程の一部改正について
平成二十五年四月に施行された新たな規程のうち、中途採用者の初任給格付けの見直し案が提案され、承認されました。

二、就業規則、及び、期間雇用職員規程の一部改正について
新規採用の職員の試用期間が一律六ヶ月としていた規定を、その職員の職歴、経験等を考慮に入れながら、資格の有無を加味して、三ヶ月から一ヶ月に短縮する改正案が示され承認されました。

◆ 定款施行細則の制定について

社会福祉法人の運営の一層の適正化を図るため、理事会の議決事項、理事会・評議員会の開催手順、役員・評議員の選任方法、更に、

理事長・園長の専決事項などを明文化する目的で、定款施行細則が提案されました。

本会では、従前から定款の定めるところに基づき適切な運営を行っているものであり、更なる明確化が図られるものとして原案のとおり承認されました。

◆ 介護職員の処遇改善策について

平成二十五年度の介護職員処遇改善加算金は、平成二十五年四月から平成二十六年三月までの間に、一千四百万円余りが支給される見込みです。愛寿会では、介護職員以外の職員に対しても一定額を支給することで、特例規程を設けて、三月に期末手当として支給することが提案され承認されました。

協議事項

一、定年退職後の再（継続）雇用制度実施規程
平成二十五年四月施行の就業規則において、満六十歳の定年齢に達した職員で、本人が希望した場合に再（継続）雇用する旨の規定の整備が行われたところです。

これに該当する職員に対する規程の運用の細目について協議が行われました。

二、第二仁生園運営規程の一部改正
障害福祉サービスの昼間サービスについて、営業日数を増やすことにより増益を図り、経営の安定化に資する旨の提案があり、継続して検討することとなりました。

報告事項

省エネ照明（LED管交換）整備により九月から十一月の三ヶ月間で平均7.4%の使用量の削減ができたことが報告されました。

仁 生 園

く クリスマス会 く

十二月の大きなイベントといえば、クリスマスです。十二月二十四日、ここ仁生園でも「クリスマス会」が行われました。

クリスマスソングにのせて、大きな袋を持ったサンタクロースと、トナカイの衣装を着た顔馴染の職員が現われると、入所者の皆様から大きな拍手がありました。



今年の入所者の皆様へのプレゼントは、担当の職員がその方に合った物、必要と思われる物など、いろいろ考えて選んだプレゼントです。ご自分でプレゼントを開封する方や職員と一緒に開封し、早速身につける等皆様に喜んで頂けました。



その後ジュースで乾杯し、クリスマスソングを皆で歌い、カラオケを楽しみました。また、この日の昼食は、とてもかわいいサンタクロースをかたどったエビピラフやチキン、デザートなど目でも楽しめるご馳走でした。

く デイサービスセンター 「ミニ門松」「しめ縄」作り く

デイサービスセンターでは、十二月のレクリエーションとして、「ミニ門松」「しめ縄」作りにチャレンジしました。

完成した作品は、ご自宅に持ち帰られ、素晴らしい新年を迎えられたことと思います。



く グループホーム「やすらぎ」家族会 く

十二月十四日(土)、「やすらぎ」家族会・忘年会を行いました。

前夜、雪が舞って天気を心配しましたが、当日はお天気も良くなり暖かい室内で、仙台、伊東市、東京と皆様遠方からお越しいただき盛大に行う事が出来ました。



今年は、フルート・ピアノによる生演奏でクリスマスコンサートを行い、広い会場で生の演奏を聴くことができ、皆様とても喜ばれていました。職員手料理による料理で会食を

行いながら、入居者の皆様もご家族と写真を撮り、普段はめったに会えない息子さん達も遠方から来て下さりふれあい交流が持て、又、「春の家族会を楽しみにしています」と話され、散会となりました。